
日米間のインターネットバックボーンを90Mbpsに大幅増速

1996年6月28日

IIJは、7月中旬に大阪～ニューヨーク間の国際バックボーン回線の容量を現在の1.5Mbpsから45Mbpsにグレードアップ、東京-サンノゼ間の45Mbpsと合わせ、日米間の国際バックボーンを90Mbpsに大幅拡充いたします。

このたび増速するのは、大阪-ニューヨーク(NY-NAP)間の国際バックボーン回線で、現在の1.5Mbpsから45Mbpsへと大幅にグレードアップします。この増速によりIIJの米国への国際バックボーンは既設の東京～サンノゼ(MAE-WEST)間45Mbpsと合わせて90Mbpsとなり、1.5Mbpsクラスの国際バックボーンが主流となっている国内プロバイダの中では、ダントツの「太さ」となります。

これら東京～米国西海岸、大阪-米国東海岸ラインに、東京～大阪間の国内45Mbpsバックボーンを組み合わせることにより、局地的な大災害にもバックアップをおこない通信を確保する、信頼性の高いバックボーンネットワークを提供できるようになります。

また、9月には欧州へ1.5Mbpsクラスの国際回線を新設予定で、今年3月より本格的に営業を開始した関係会社の株式会社アジア・インターネット・ホールディング経由でのアジア向けバックボーン(アジア10カ国を東京からスター状に接続)と合わせると、全世界でも最大規模の国際バックボーンを保有するインターネットプロバイダとなります。
